



芸術文化の薫る やすらぎの道

せきしょうびじゅつかんとせきしゅうわしのさと しおじなぎさみち

石正美術館と石州和紙の里 潮路なぎさみち

平成24年度認定 / 島根県浜田市 / 潮路なぎさみち実行委員会

水陸交通の要衝・三隅川との共存の町。

かつて港町として栄えた浜田市三隅町^{はまたしみすみちょう}は、入江に恵まれた地形から、山陰道の水陸交通の要衝として栄え賑わっていました。町の南を望む高城山の山頂には、この地域一帯を支配した鎌倉期の豪族、三隅兼信の居城であった三隅城跡が残っています。城跡からは町を一望ことができ、今も歴代三隅氏の強い反骨精神は町の人々

の心に深く根付き脈々と受け継がれています。

「水澄みの里」^{みすず}とも呼ばれる三隅町は、町の中央を縦断する三隅川の豊かな水量により、古来から独自の製法による丈夫で雅味に富む石州和紙の生産が盛んで、この地方の重要な産物でした。江戸時代には御用船商人が竹島まで赴いて中国大陸へ密貿易



田ノ浦公園から見える
あかね色の入り日に染まる日本海

夕日の日本海 そして 歴史文化と芸術

易に使用したり、年貢米に変わる紙年貢として幕末まで藩の財政を支えました。しかし、町に多くの恵みを与えた三隅川は時として町の人々に災いをもたらすことがあり、昭和18年・58年の2度にわたる大水害では多くの犠牲者がでることになりました。この教訓から、町は高台へ小中学校を始め町の施設の移転を行うとともに、浜田市立石正美術館や石州和紙会館を開館し、三隅の心に触れ芸術文化を次世代へと伝承していく場を創りました。ここには三隅町の文化を発信する心豊かな空間が広がります。ひとさわ人々が集う美術館の回廊は、やわらかな曲線に包まれて際だった美しさをみせます。

高台を下ると、川沿いに太古の昔より繰り返される入り日がまばゆい情景の日本海



ヨーロッパ調の美しい建物の浜田市立石正美術館



へと誘う「潮路なぎさみち」へ繋がっていきます。河口右岸には、中世以来河口港として繁栄した湊浦があります。鉄道の開通と共に港が無くなり港町としての様相は残していませんが、一角の古い町並がかつての活気を感じさせます。さらに左岸には奈良時代から市のたっていた古市場の漁業集落を見ることができま

す。西には針藻山、東には湊浦の古い街並みが望める三隅川河口では、町の歴史を後世に語り継ぎ先人との絆を大切にしていきたいとの思いから、平成25年から精霊流しなどの行事を含む石州和紙灯ろうまつりが行われてきました。いにしへの昔より伝わる石州和紙で作られた灯ろうにあかりを灯し祖先を偲ぶこの行事は、心すかれるまち三隅の宝として継続されていくことでしょう。

伝統と街道が仲間と地域を結びます。



三保公民館長の
下岡安之さん

潮路なぎさみち和紙街道沿いにある湊浦八幡宮(みなとうらはちまんぐう)は毎年10月の第2土曜日、日曜日を祭典日と定められ、石見神楽の上演をはじめ露店商が数多く立ち並び、子どもから大人まで大賑わいの街道であったのを覚えています。今でも街道筋には家と家とを結ぶ「しめ縄」と「紙垂(しで)」で飾りつけ、数は少なくなりましたが露店商も出て祭りを盛り立てています。良き伝統として現在に引き継がれ、地元の方々をはじめ他の地域からも来て交流を深める場になっています。今後も良き伝統と街道を見守っていきたくと思っています。

天領江津本町躰街道 P53

ゆうひパーク三隅まで約7km



まずだ歴史浪漫街道 P65

サンエイト美都まで約23km

- ①古市場街並み
- ②針藻山公園
- ③湊浦街並み
- ④田ノ浦公園
- ⑤西田製紙所
- ⑥石正美術館
- ⑦石州和紙会館
- ⑧かわひら
- ⑨石州和紙久保田
- ⑩西田和紙工房
- ⑪三隅歴史民俗資料館
- ⑫三隅神社
- ⑬三隅公園

室谷の棚田

自然と調和した日本の原風景。「日本の棚田百選」です。



くじら岩 (田ノ浦海岸)



龍雲寺

600年の歴史を有する龍雲寺。本堂の格天井には巨大な龍の墨絵など、貴重な文化財があります。



交通
三保公民館まで
浜田ICから車で約40分
秋・石見空港から車で約35分
JR三保三隅駅から約1.8km

お問い合わせ
潮路なぎさみち実行委員会事務局
☎0855-32-0098

ぶらり歩いてみよう

古市場街並み



古くから市のたっていた所で、天正天皇(第44代女性天皇)の御世に始まると伝えられています。三隅町岡見から続く赤褐色瓦の街並みです。

針藻山公園



展望台から東に、日本海と三隅川、湊浦の集落、そして「大麻山」「水菜山」「高城山」が一望できます。「大麻山」は西の高野山とも呼ばれています。

湊浦街並み



湊浦は鉄道の開通と共に河口港としての繁栄は失われ港もなくなりましたが、造り酒屋さんが現役で酒を造っていて、その一角が古い街並みとして残っています。

田ノ浦公園



三隅川河口1.2kmに広がる砂浜で、夏場にはカー体験やキャンプなど多くの観光客が訪れます。

石正美術館



2001年に開館した、日本画家・石本正(1920~2015)の全貌にふれることができる美術館で、日本画やデッサンなど約2500点を所蔵しており、石本氏の強い思いを具現化した美術館でもあります。

石州和紙会館



石州和紙の技術・技法を研修する施設で、体験工房などがあり、和紙の展示、販売も行っています。

イベント・活動

石州和紙 灯ろうまつり

昭和58年の大水害から30年の節目の年、平成25年から三隅川河口付近で精霊流しを開催し町の歴史を後世に伝えています。



おお いわみ 若い石見の芸術祭

全国の美術大学の学生や・各画壇で活躍中の作家と地域住民によるアートの祭典を開催しています。平成28年の開催では、全国の美術大学のうち24校から186点の日本画が出品され、合同講評会や学生交流会なども行われました。



「踊子」

日本画家・石本正が30歳の時の代表作。この頃の石本は、ピカソの「青の時代」に憧れていた。ある時、その絵に登場する女性とよく似たモデルに出会った彼は、サーカスを夢見た幼い頃を思い出し、出番を待つ踊子の不安と期待が入り混じった複雑な表情の中に少女の悲しみや創られた美しさを描いた。はかなさと美しさをテーマにする彼の出発点ともいえる作品だ。

みんなが集まる 交流施設

三保公民館

水墨画教室、きらめき子ども体験教室、三隅の星を観る会、コース開催、グランドゴルフ同好会など、地域の憩いの場になっています。



オススメ周辺情報

- 室谷の棚田
- 龍雲寺